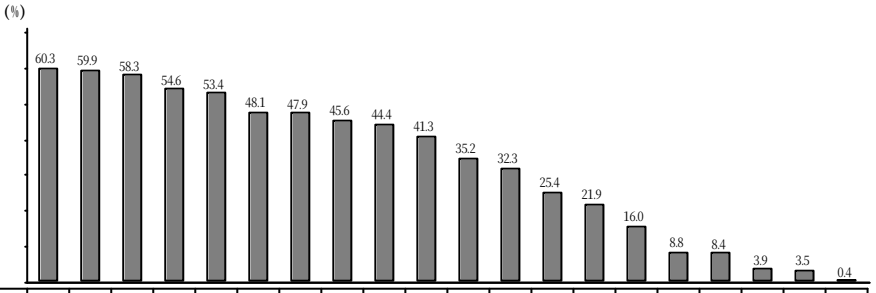
Ⅵ.「小学４・５・６年生」の調査結果

１．日常生活について

（１）子どもがふだん自分ですること（問１）（複数回答）

4 割の子どもがやっていると回答しており、小学校高学年の子どもたちは、日ごろ、家庭においていろいろな役割を担っている状況がうかがえる。

これを学年別にみると、自分でやっているとする割合は、「ふとんをしいたりたたむ」を除く多くの項目において、『4 年生』に比べて『6 年生』では、回答が 10～20 ポイント程度低くなっている。しかし、「特になにもしていない」という割合をみると、『4 年生』では 2.1%であるのに対し、『6 年生』では 4.8%と、顕著な差はみられないことから、学年が高くなると、家の中で担う役割の種類が減ってくるという状況が推測される。



＊問２２　学年	N	1 食事の準備をする・食器を並べる	2 自分の部屋の掃除	3 食事のあとかたづけをする	4 おつかい	5 おふろ掃除	6 ふとんをしいたりたたむ	7 自分のクツを洗う	8 ゴミ袋を出しに行く	9 新聞などを取りに行く	10 生きものの世話	11 洗濯・洗濯ものをたたむ	12 妹や弟のめんどう	13 自分の部屋以外の部屋の掃除	14 食事をつくる	15 玄関の掃除	16 庭の掃除	17 トイレ掃除	18 その他	19 特になにもしていない	20 無回答
0 TOTAL	489	60.3	59.9	58.3	54.6	53.4	48.1	47.9	45.6	44.4	41.3	35.2	32.3	25.4	21.9	16.0	8.8	8.4	3.9	3.5	0.4
1 4年生	189	67.7	61.4	65.1	59.8	54.5	48.1	50.8	49.7	49.7	48.7	41.3	41.3	29.6	26.5	16.9	10.6	10.1	5.3	2.1	0.0
2 5年生	128	59.4	62.5	61.7	57.0	57.8	47.7	50.0	48.4	48.4	40.6	30.5	32.8	30.5	21.9	21.1	10.9	10.9	3.1	3.9	0.8
3 6年生	167	52.7	56.9	49.1	46.1	47.9	49.1	42.5	38.3	35.3	34.1	31.7	22.8	16.8	16.8	10.8	5.4	4.8	3.0	4.8	0.6

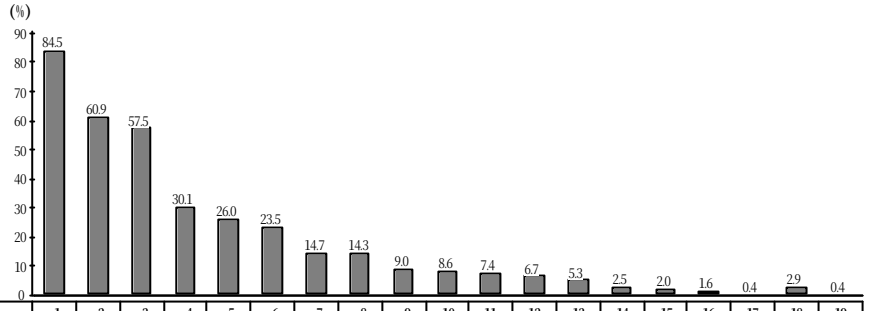
学年別無回答　N=5 を除く

（２）放課後の主な過ごし場所（問２）（5 つまでの制限回答）

子どもが、平日の学校が終わってから主に過ごしている場所については、「自分の家」が 84.5%で最も高く、これに「学習塾や習いごと」（60.9%）、「友だちの家」（57.5%）が 6 割前後で続いている。以下、「近所の公園」（30.1%）、「学校（校庭や体育館など）」（26.0%）、「児童館」（23.5%）がいずれも 2～3 割、「スポーツをするところ」（14.7%）、「お店」（14.3%）が 14%台で続いており、そのほかはいずれも 1 割未満にとどまる。

これを学年別にみると、「自分の家」「学習塾や習いごと」「友だちの家」といった、全体

で 5 割を超えている場所は、学年別にみても高くなっている。特に『5 年生』では、「友だちの家」（64.1%）のほか、「近所の公園」（43.0%）、「学校（校庭や体育館など）」（36.7%）、「広場や空き地」（14.1%）といった、自宅以外の遊び場所で過ごす子どもが他の学年に比べて高くなっている。また、『4 年生』では「児童館」が 36.0%にのぼり、「近所の公園」（24.9%）や「学校」（24.3%）を上回って 4 番目に高くなっている。一方、『6 年生』では「お店」（19.2%）が約 2 割にのぼり、「学校」（19.2%）と並んで 5 番目に高くなっている。



＊問２２　学年		N	1 自分の家	2 学習塾や習いごと	3 友だちの家	4 近所の公園	5 学校の校庭や体育館など	6 児童館	7 スポーツをするところ	8 店スーパーやデパートなどのお	9 図書館	10 広場や空き地	11 コンビニ	12 おばあさん・おじいさんの家	13 クラブ活動	14 ゲームセンター	15 ファーストフード店	16 学童クラブ	17 の家おばさん・おじさんなど親類	18 その他	19 無回答
0	TOTAL	489	84.5	60.9	57.5	30.1	26.0	23.5	14.7	14.3	9.0	8.6	7.4	6.7	5.3	2.5	2.0	1.6	0.4	2.9	0.4
1	４年生	189	81.0	65.1	61.4	24.9	24.3	36.0	19.6	8.5	9.5	6.3	5.8	6.9	6.3	2.1	2.1	1.6	0.0	2.1	0.0
2	５年生	128	83.6	57.8	64.1	43.0	36.7	23.4	17.2	16.4	5.5	14.1	5.5	7.8	7.0	0.8	0.8	1.6	0.8	3.9	0.8
3	６年生	167	88.6	58.7	48.5	26.9	19.2	10.2	7.2	19.2	10.8	7.2	10.2	6.0	2.4	4.2	3.0	1.8	0.6	3.0	0.6

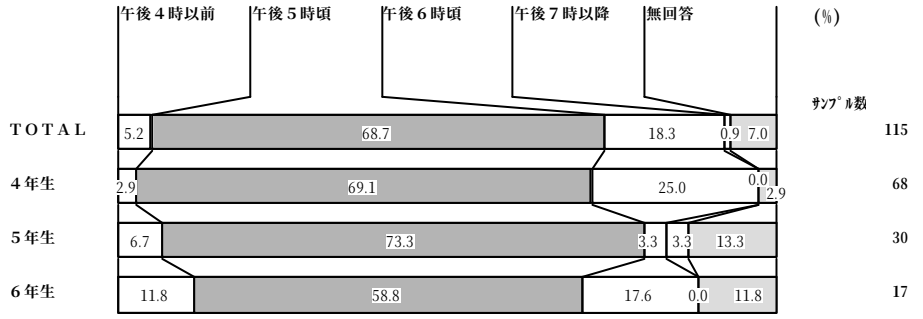
学年別無回答　N=5 を除く

（３）平日の外出先からの帰宅時間（問２－１）

①児童館で過ごしたあと

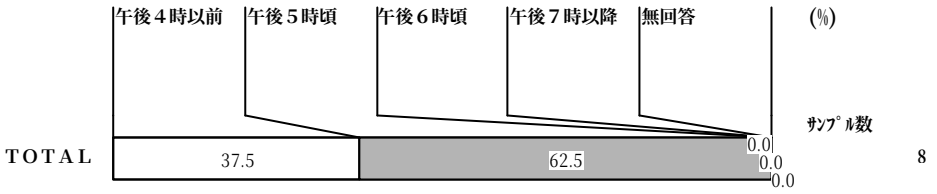
問 2 において「児童館」に回答している人に、児童館で過ごした後に自宅へ帰ってくる時間を聞いている。その結果、「午後 5 時頃」（68.7%）が約 7 割を占めて最も高く、次いで「午後 6 時頃」（18.3%）が約 2 割となっている。

これを学年別にみると、児童館の利用率が高い『4 年生』では、「午後 5 時頃」（69.1%）が約 7 割を占めているものの、「午後 6 時頃」とする回答も 25.0%にのぼり、5 年生以上に比べて、帰りが若干遅い子どもが多くみられる。



②学童クラブで過ごしたあと

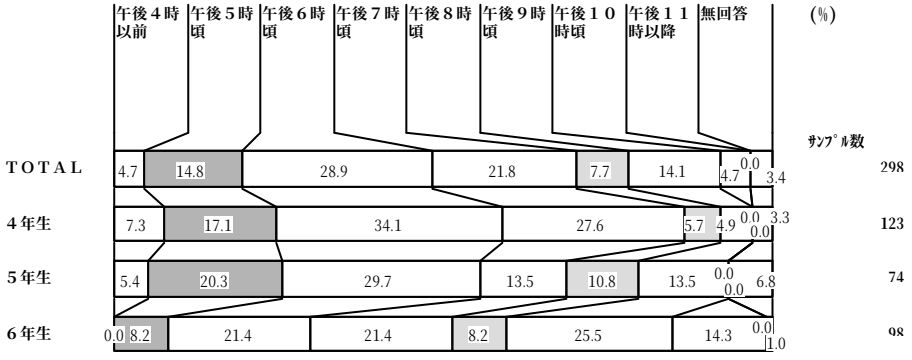
問 2 において「学童クラブ」に回答している人に、学童クラブで過ごした後に自宅へ帰ってくる時間を聞いている。その結果、「午後 5 時頃」（62.5%）が 6 割強、次いで「午後 4 時以前」（37.5%）が 4 割弱となっている。



③学習塾や習いごとで過ごしたあと

問 2 において「学習塾や習いごと」に回答している人に、学習塾や習いごとで過ごした後に自宅へ帰ってくる時間を聞いている。その結果、「午後 6 時頃」（28.9%）が約 3 割を占めて最も高く、次いで「午後 7 時頃」（21.8%）が約 2 割となっている。一方、「午後 9 時頃」（14.1%）とする子どもも約 15%みられ、これに「午後 10 時頃」（4.7%）をあわせると、帰宅が午後 9 時以降となる子どもが約 2 割みられる。なお、そのほかの時間帯においても 1 割前後の回答がみられ、児童館や学童クラブからの帰宅時間に比べて帰宅時間が分散している。

これを学年別にみると、『4 年生』では「午後 6 時頃」が 34.1%で最も高く、次いで「午後 7 時頃」が 27.6%となっており、午後 7 時頃までに帰宅している子どもが 9 割近く（86.1%）を占める。帰宅時間は学年があがるほど遅くなっており、『5 年生』では午後 7 時頃までに帰宅している子は約 7 割（68.9%）で、「午後 8 時頃」（10.8%）と「午後 9 時頃」（13.5%）をあわせると、午後 8 時以降に帰宅する子どもが約 4 分の 1（24.3%）にのぼる。また、『6 年生』になると、午後 7 時頃までに帰宅している子は約 5 割（51.0%）にとどまり、「午後 9 時頃」（25.5%）が約 4 分の 1 を占めて最も高く、これに「午後 10 時頃」（14.3%）をあわせると、午後 9 時以降に帰宅する子どもが約 4 割（39.8%）にのぼる。

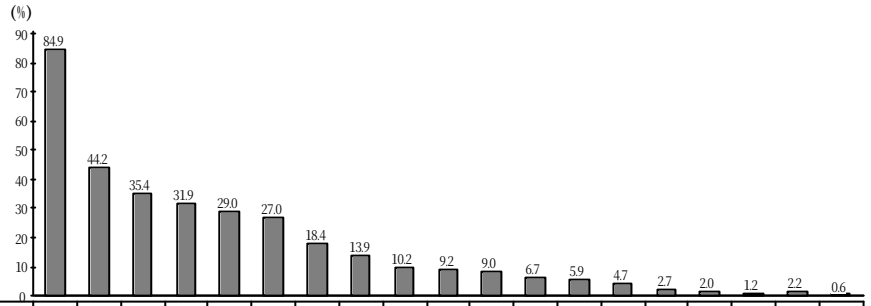


学年別無回答　N=3 を除く

（４）休日の主な過ごし場所（問３）（5 つまでの制限回答）

子どもが、学校が休みの日に主に過ごしている場所については、「自分の家」が 84.9%で最も高く、次いで「家族とでかけるところ」が 44.2%となっている。これに、「友だちの家」（35.4%）、「学習塾や習いごと」（31.9%）、「お店（スーパーやデパートなど）」（29.0%）、「近所の公園」（27.0%）がいずれも 3 割前後で続いている。

これを学年別にみると、すべての学年において 1 位は「自分の家」となっているが、その割合は学年があがるほど高くなっており、『6 年生』では 89.8%と、約 9 割にのぼっている。一方、2 位に関しては学年による違いがみられ、『4 年生』では「家族とでかけるところ」（55.6%）が 5 割を超えて 2 位となっているのに対し、『5 年生』では「友だちの家」（46.1%）が、『6 年生』では「学習塾や習いごと」（39.5%）がそれぞれ 2 位を占めている。また、『5 年生』では「友だちの家」に加えて「近所の公園」（39.8%）も約 4 割にのぼって、他の学年に比べて顕著に高くなっている。以上の結果より、休日の過ごし方については、4 年生では家族とともに過ごしているのが、5 年生になると友だちと過ごすことが多くなり、6 年生になると塾で過ごすことが多くなる、といった変化がみられる。



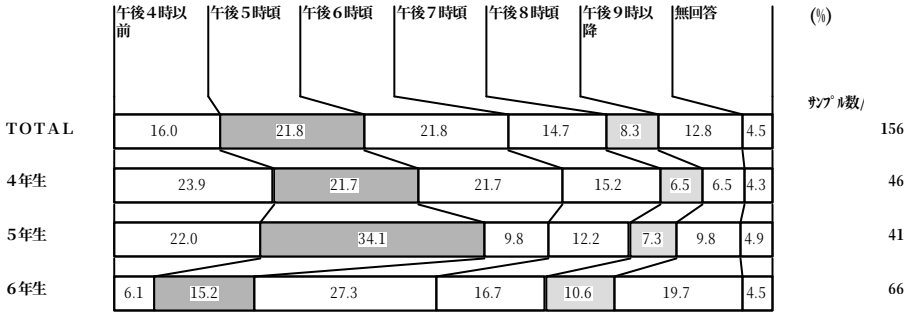
＊問２２　学年		N	1 自分の家	2 家族とでかけるところ	3 友だちの家	4 学習塾や習いごと	5 店スーパーやデパートなどのお	6 近所の公園	7 おばあさん・おじいさんの家	8 スポーツをするところ	9 図書館	10 学校の校庭や体育館など	11 児童館	12 広場や空き地	13 コンビニ	14 ファーストフード店	15 ゲームセンター	16 の家おばさん・おじさんなど親類	17 クラブ活動	18 その他	19 無回答
0	TOTAL	489	84.9	44.2	35.4	31.9	29.0	27.0	18.4	13.9	10.2	9.2	9.0	6.7	5.9	4.7	2.7	2.0	1.2	2.2	0.6
1	４年生	189	80.4	55.6	33.9	24.3	30.2	23.8	21.7	16.9	10.6	7.4	13.8	5.8	4.8	7.9	2.6	0.5	3.2	3.7	0.0
2	５年生	128	84.4	41.4	46.1	32.0	28.1	39.8	17.2	16.4	7.8	18.0	10.2	12.5	7.8	4.7	2.3	1.6	0.0	2.3	1.6
3	６年生	167	89.8	32.3	29.3	39.5	28.1	21.0	15.0	9.0	12.0	4.8	3.0	3.6	6.0	1.2	3.0	3.6	0.0	0.6	0.6

学年別無回答　N=5 を除く

（５）休日、学習塾や習いごとから帰宅する時間（問３－１）

問 3 において「学習塾や習いごと」に回答している人に、学習塾や習いごとで過ごした後に自宅へ帰ってくる時間を聞いている。その結果、「午後 5 時頃」と「午後 6 時頃」がいずれも 21.8%で最も高くなっているが、そのほかの時間帯においてもいずれも 1 割前後の回答がみられ、休日の帰宅時間は分散している。

これを学年別にみると、『4 年生』と『5 年生』では午後 6 時頃までに帰宅している子どもが 7 割近く（4 年：67.3%、5 年：65.9%）を占めている。一方、『6 年生』では午後 6 時頃までに帰宅している子どもは約 5 割（48.6%）にとどまり、「午後 9 時以降」が 19.7%と、約 2 割にのぼっている。

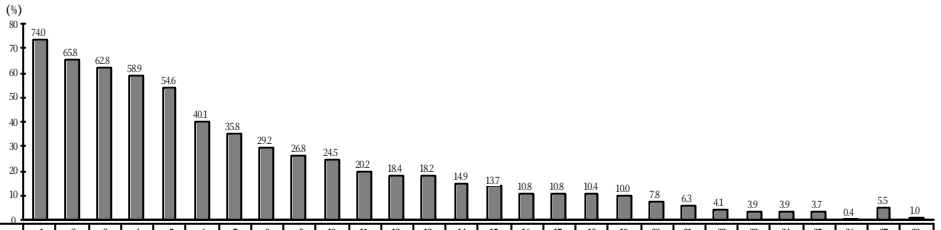


学年別無回答　N=3 を除く

（６）ほっとできるとき（問４）（複数回答）

ほっとできるときは、「寝ているとき」が 74.0%で最も高くなっている。以下、「友だちと遊んだり話しているとき」（65.8%）と「お風呂に入っているとき」（62.8%）が 60%台、「自分の部屋にいるとき」（58.9%）と「家族と遊んだり話しているとき」（54.6%）が 50%台、「ひとりになってぼーっとしているとき」（40.1%）と「家族と出かけるところにいるとき」（35.8%）が 4 割前後となっている。全体的にみて、家族や友だちと過ごしている場面や、ひとりで過ごしている場面への回答が高くなっている。

これを学年別にみると、全体で上位 3 位までの項目は、学年別にみても上位 3 位までに含まれている。次いで、『４年生』『5 年生』では「家族と遊んだり話しているとき」（4 年：58.7%、5 年：61.7%）が約 6 割にのぼって 4 位となっているほか、「家族と出かけるところにいるとき」（4 年：46.0%、5 年：37.5%）も 4 割前後で上位 6 位までに含まれている。一方、『6 年生』では「自分の部屋にいるとき」（60.5%）が 4 位、「ひとりになってぼーっとしているとき」（50.9%）が 5 位となっており、家族で過ごしているときよりも、ひとりで過ごしているときを回答する人の方が多くなっている。



＊問２２　学年		N	1 寝ているとき	2 友だちと遊んだり話しているとき	3 お風呂に入っているとき	4 自分の部屋にいるとき	5 家族と遊んだり話しているとき	6 ひとりになってぼーっとしているとき	7 家族と出かけるところにいるとき	8 ご飯を食べているとき	9 なにもしないでいるとき	10 おばあさん・おじいさんの家にいるとき	11 本屋にいるとき	12 図書館にいるとき	13 校庭など学校にいるとき	14 学習塾や習いごとに行っているとき	15 トイレに入っているとき	16 スポーツをするところにいるとき	17 スーパーやデパートなどお店にいるとき	18 児童館にいるとき	19 クラブ活動をしているとき	20 近所の公園にいるとき	21 おばあさん・おじいさんなど親類の家にいるとき	22 広場や空き地にいるとき	23 ゲームセンターにいるとき	24 ファーストフード店にいるとき	25 コンビニにいるとき	26 学童クラブにいるとき	27 その他	28 無回答
0	TOTAL	489	74.0	65.8	62.8	58.9	54.6	40.1	35.8	29.2	26.8	24.5	20.2	18.4	18.2	14.9	13.7	10.8	10.8	10.4	10.0	7.8	6.3	4.1	3.9	3.9	3.7	0.4	5.5	1.0
1	４年生	189	76.2	67.2	60.3	58.2	58.7	33.9	46.0	32.3	25.9	29.6	19.0	21.7	16.9	15.9	14.3	12.7	9.0	15.9	13.8	7.9	4.8	4.8	5.8	5.3	3.2	0.0	6.3	0.5
2	５年生	128	82.0	62.5	68.0	58.6	61.7	33.6	37.5	35.9	26.6	21.1	20.3	19.5	25.0	14.1	12.5	12.5	14.8	11.7	9.4	8.6	7.0	3.1	3.1	1.6	3.1	1.6	6.3	1.6
3	６年生	167	65.9	67.7	61.7	60.5	44.9	50.9	24.0	21.6	28.1	21.6	21.6	13.2	15.0	14.4	13.8	7.8	10.2	3.6	6.6	7.2	6.6	4.2	2.4	4.2	4.8	0.0	4.2	1.2

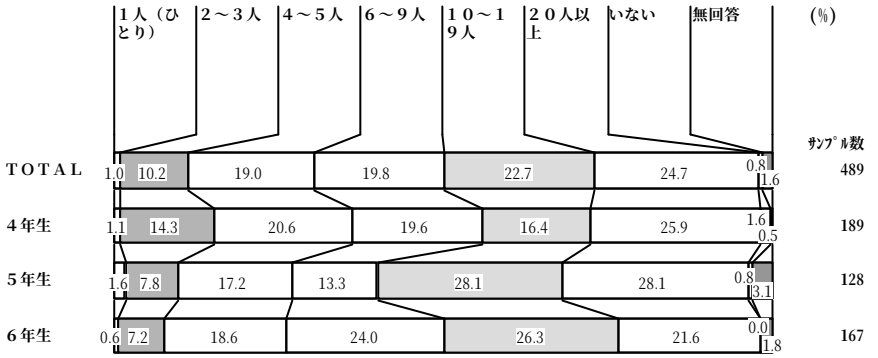
学年別無回答　N=5 を除く

（７）一緒に遊んだり話したりする友だちの人数（問５）

一緒に遊んだり話したりする友だちの人数は、「20 人以上」とする人が 24.7%を占めて最も高い。これに「10～19 人」（22.7%）をあわせると 47.4%と、10 人以上友だちがいる子どもが半数近くを占める。以下、「6～9 人」（19.8%）、「4～5 人」（19.0%）と続いてお

り、ほとんどの子どもが多くの友だちを持っている。一方、3 人以下を回答している人は約 1 割、「いない」と回答しているのは 0.8%である。

これを学年別にみると、『5 年生』では、「10～19 人」（28.1%）や「20 人以上」（28.1%）への回答が他の学年に比べて高く、両者をあわせた 10 人以上とする割合は 56.2%と、6 割近くにのぼり、『4 年生』（42.3%）や『6 年生』（47.9%）では 45%前後であるのに比べて若干高くなっている。

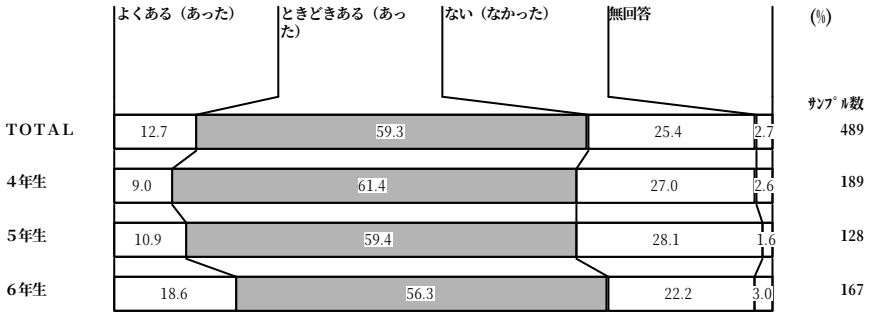


学年別無回答　N=5 を除く

（8）登校拒否（学校に行きたくないと思うこと）の経験（問 6）

学校に行きたくなくなることが「よくある（あった）」（12.7%）という子どもは 1 割強にとどまるが、「ときどきある（あった）」（59.3%）という子どもは全体の約 6 割にのぼっており、両者をあわせると、全体の 7 割以上（72.0%）の子どもが「学校に行きたくない」と思うことがあると回答している。

これを学年別にみると、「よくある（あった）」とする割合は学年があがるほど高くなっており、『6 年生』では 18.6%と、約 2 割を占めている。



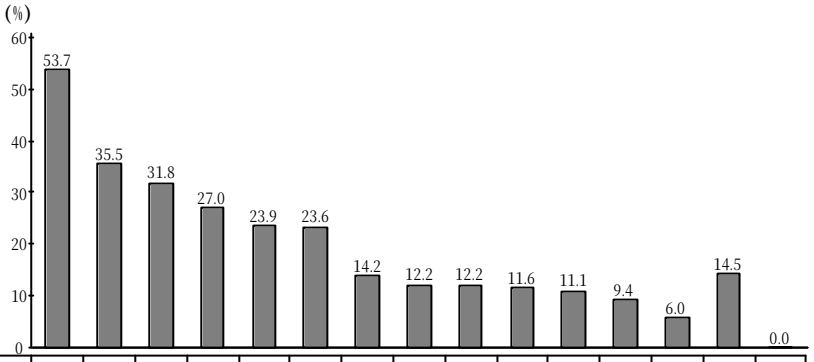
学年別無回答　N=5 を除く

（9）学校に行きたくないと思うとき（問 6－1）（複数回答）

問 6 で「よくある（あった）」「ときどきある（あった）」と回答している人にその理由を聞いたところ、「身体の具合が悪いとき」（53.7%）が 5 割を超えて最も高く、次いで「なんとなく」（35.5%）、「友だちとうまくいかないとき」（31.8%）、「寝坊をしたとき」（27.0%）がいずれも 3 割前後、「いじめを受けたとき」（23.9%）、「苦手な教科の授業があるとき」（23.6%）が 2 割強となっている。なお、「その他」への回答が 14.5%と、1 割を超えているが、その具体的な内容をみると、「眠いとき」が特に多く、次いで「疲れてい

るとき」「休みの次の日」が多数見受けられる。

これを学年別にみると、すべての学年において「身体の具体が悪いとき」が最も高くなっている。次いで、『4 年生』では「友だちとうまくいかないとき」（36.8%）や「いじめを受けたとき」（30.1%）が 3 割を超えており、交友関係に関わる内容が上位にみられる。また、『6 年生』では「なんとなく」（36.8%）と「友だちとうまくいかないとき」（32.8%）が 3 割を超えている。一方、『5 年生』では「なんとなく」（45.6%）と「寝坊をしたとき」（37.8%）が 4 割前後にのぼっており、本人の体調に関わる内容が他を大きく引き離して特に高くなっている。



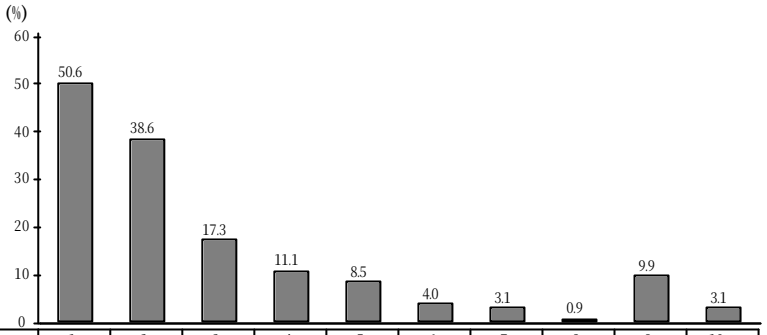
	＊問２２　学年	N	1 身体の具合が悪いとき	2 なんとなく	3 友だちとうまくいかないとき	4 寝坊をしたとき	5 いじめを受けたとき	6 苦手な教科の授業があるとき	7 テストがあるとき	8 宿題や課題などをしなかったとき	9 先生とうまくいかないとき	10 学校以外のところに行きたくなったとき	11 授業がわからないとき	12 家でしかられたとき	13 校則が厳しいから	14 その他	15 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	352	53.7	35.5	31.8	27.0	23.9	23.6	14.2	12.2	12.2	11.6	11.1	9.4	6.0	14.5	0.0
1	４年生	133	57.1	27.1	36.8	21.8	30.1	24.8	18.0	17.3	12.0	10.5	12.0	8.3	3.0	9.8	0.0
2	５年生	90	58.9	45.6	23.3	37.8	27.8	27.8	18.9	12.2	7.8	17.8	13.3	10.0	8.9	13.3	0.0
3	６年生	125	45.6	36.8	32.8	25.6	14.4	20.0	7.2	6.4	16.0	8.0	8.8	10.4	7.2	20.0	0.0

学年別無回答　N=4 を除く

（10）学校に行きたくないときの相談相手（問６－２）（複数回答）

問 6 で「よくある（あった）」「ときどきある（あった）」と回答している人に、そのときどうしたかを聞いたところ、「相談しなかった・したくなかった」（50.6%）が約 5 割を占めて顕著に高く、以下、「母親に相談した」が 38.6%、「友だちに相談した」が 17.3%となっており、「学校の先生に相談した」（4.0%）や「相談の先生に相談した」（0.9%）はいずれも 5%未満にとどまっている。なお、「その他」（9.9%）への回答が約 1 割みられるが、その具体的な内容は、「我慢してそのまま学校に行った」といったものがほとんどである。

これを学年別にみると、両親、祖父母、兄弟などの家族に相談している割合は学年が低いほど高く、『4 年生』『5 年生』では「母親に相談した」がいずれも 44.4%にのぼり、「相談しなかった・したくなかった」（4 年：45.9%、5 年：51.1%）と並んでいるのに対し、『6 年生』では「母親に相談した」は 29.6%にとどまり、「相談しなかった・したくなかった」（53.6%）がそれを大きく上回っている。



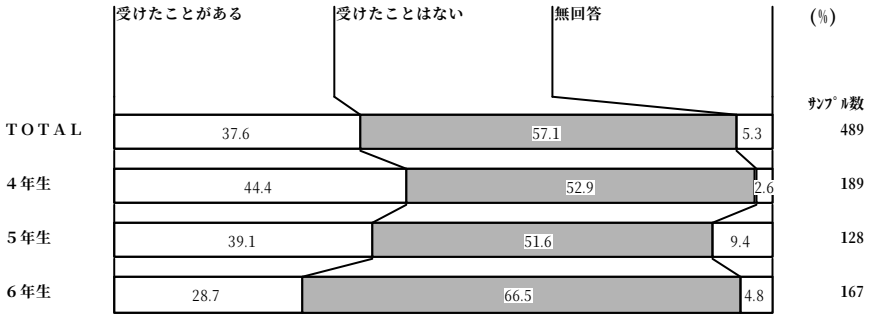
	＊問２２　学年	N	1 相談しなかった・したくなかった	2 母親に相談した	3 友だちに相談した	4 父親に相談した	5 兄弟姉妹に相談した	6 学校の先生に相談した	7 おばあさん・おじいさんに相談した	8 相談の先生に相談した	9 その他	10 無回答
0	TOTAL	352	50.6	38.6	17.3	11.1	8.5	4.0	3.1	0.9	9.9	3.1
1	４年生	133	45.9	44.4	17.3	15.0	11.3	4.5	5.3	0.8	6.8	2.3
2	５年生	90	51.1	44.4	22.2	11.1	8.9	4.4	4.4	1.1	6.7	5.6
3	６年生	125	53.6	29.6	14.4	7.2	5.6	3.2	0.0	0.8	16.0	2.4

学年別無回答　N=4 を除く

（11）いじめを受けた経験（問７）

いじめを「受けたことがある」という子どもは 37.6%で、いままでにいじめられた経験がある子どもが全体の 4 割近くを占めている。

これを学年別にみると、いじめを「受けたことがある」という割合は学年が低いほど高く、『4 年生』では 44.4%と、4 割を超えているのに対し、『6 年生』では 28.7%と、約 3 割にとどまっている。



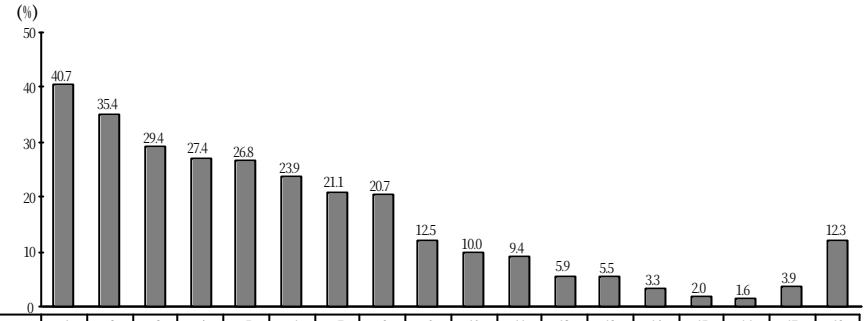
学年別無回答　N=5 を除く

（12）いじめを受けたときの対応の仕方（問７－１）（複数回答）

いじめを受けたときの対応については、「母親に相談した（する）」（40.7%）が約 4 割で最も高く、次いで「相手のいじめを無視した」が 35.4%となっている。以下、「相手に仕返しをした（する）」（29.4%）、「がまんした（する）」（27.4%）、「相手にいじめをやめるように言った（言う）」（26.8%）がいずれも 3 割弱で続いている。

これを学年別にみると、全体で最も高い「母親に相談した（する）」は学年が低いほど高く、『4 年生』と『5 年生』では「母親に相談した（する）」（4 年：43.9%、5 年：44.5%）が 4 割を超えて最も高くなっている。一方、「相手のいじめを無視した（する）」と「相手

に仕返しをした（する）」は学年が高くなるほど高くなっており、『6 年生』では「相手のいじめを無視した（する）」（40.7%）が約 4 割で 1 位となっている。『6 年生』になると、母親などの家族に相談するよりも、無視や仕返しといった方法で、自分でいじめに打ち勝っていく子どもが増えている状況がうかがえる。また、両親や兄弟、友だち、先生、相談機関などに相談するという割合は、他の学年に比べて『5 年生』において若干高いという傾向がみられる。



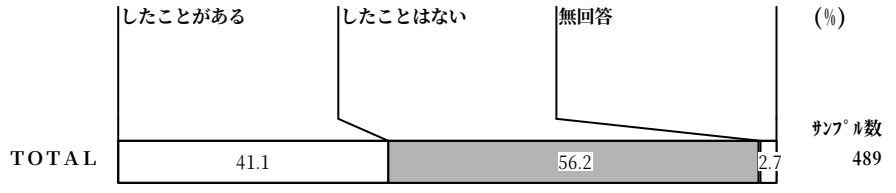
＊問２２　学年		N	1 母親に相談した・する	2 相手のいじめを無視した・す	3 相手に仕返しをした・する	4 がまんした・する	5 言った・言う相手にいじめをやめるように	6 友だちに相談した・する	7 父親に相談した・する	8 学校の先生に相談した・する	9 ないにも言えなかった・言えな	10 ない相談したくなかった・したく	11 兄弟姉妹に相談した・する	12 談した・するおばあさん・おじいさんに相	13 学校を休んだ・休む	14 相談の先生に相談した・する	15 電話を使って相談した・する	16 ・するいじめの相談窓口に相談した	17 その他	18 無回答
0	TOTAL	489	40.7	35.4	29.4	27.4	26.8	23.9	21.1	20.7	12.5	10.0	9.4	5.9	5.5	3.3	2.0	1.6	3.9	12.3
1	４年生	189	43.9	28.0	25.9	29.1	20.1	19.0	21.2	18.5	13.2	10.6	7.9	7.9	4.2	1.1	1.1	0.5	3.7	15.3
2	５年生	128	44.5	39.1	29.7	25.0	34.4	32.8	25.0	27.3	12.5	9.4	11.7	6.3	3.9	4.7	4.7	3.9	3.1	6.3
3	６年生	167	34.7	40.7	33.5	27.5	28.7	23.4	18.0	18.0	11.4	10.2	9.6	3.6	7.8	4.8	1.2	1.2	4.8	13.2

学年別無回答　N=5 を除く

（13）いじめをした経験（問８）

いじめを「したことがある」という子どもは 41.1%で、いままでにいじめをした経験がある子どもが全体の約 4 割を占めている。なお、この割合は、いじめを「受けたことがある」という割合（問 7 参照）とほぼ一致している。

なお、いじめを「したことがある」という割合に関しては、学年による顕著な差はみられない。



（14）いじめをしたとき（あと）の気分（問８－１）（複数回答）

問 7 で「したことがある」と回答している子どもに、そのとき（後）どんな気分がしたかを聞いたところ、「ちょっと悪かったと思った」（68.2%）が約 7 割で最も高く、これに「後悔した」が 49.8%で続いており、大半の子どもは、いじめのあとに反省をしている状況がうかがえる。一方、「すっきりした」（14.4%）、「見つからなければいいと思った」（11.9%）、「またいじめてやろうと思った」（7.5%）といった回答もいずれも 1 割前後み

られる。なお、「その他」（9.5%）への回答が約 1 割みられるが、その具体的な内容をみると、「もうやめようと思った」「自分はバカだと思った」といった後悔をうかがわせるものがそのほとんどを占めているが、中には「楽しかった」「ストレス解消」といった内容も若干見受けられる。

これを学年別にみると、「すっきりした」「見つからなければいいと思った」「またいじめてやろうと思った」といった回答は学年が高くなるほど高くなっており、『6 年生』ではいずれも 2 割近く（すっきり：18.5%、見つからなければいい：20.0%、またいじめたい：16.9%）にのぼっている。

	＊問２２　学年	N	1 ちょっと悪かったと思った	2 後悔した	3 すっきりした	4 見つからなければいいと思った	5 またいじめてやろうと思った	6 その他	7 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	201	68.2	49.8	14.4	11.9	7.5	9.5	0.0
1	４年生	78	61.5	48.7	10.3	7.7	3.8	11.5	0.0
2	５年生	56	78.6	57.1	16.1	8.9	1.8	5.4	0.0
3	６年生	65	66.2	46.2	18.5	20.0	16.9	10.8	0.0

学年別無回答　N=2 を除く

（15）自分自身についての考え方（問９）

自分のことに関する次の５つの意見のそれぞれについて、自分の考えと一致するかどうかを回答してもらった。

①自分のことが好きだ

「そう思う」（23.7%）という回答は 2 割強で、これに「ややそう思う」（27.6%）をあわせると 51.3%と、自分のことが好きであるという子どもは全体の約半数にとどまっている。

②自分は人から必要とされている

「そう思う」（7.6%）という回答は 1 割未満にとどまり、これに「ややそう思う」（30.1%）をあわせても 37.7%と、自分は人から必要とされていると思っている子どもは全体の 4 割弱にとどまっている。

③自分のことを誰もわかってくれない

「そう思う」（8.0%）や「ややそう思う」（14.5%）といった回答はいずれも 1 割前後で、両者をあわせると 22.5%と、自分のことを誰もわかってくれないと感じている子どもは全体の 2 割強みられる。

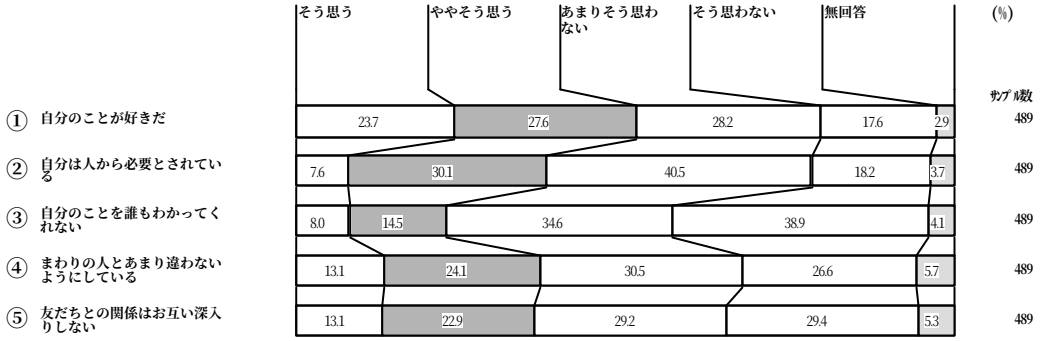
④まわりの人とあまり違わないようにしている

「あまりそう思わない」（30.5%）が最も高く、これに「そう思わない」（26.6%）をあわせると 57.1%と、否定的な意見が 6 割近くを占め、「ややそう思う」（24.1%）と「そう思う」（13.1%）をあわせた肯定的な意見が 37.2%であるのに比べて高く、「まわりの人とあまり違わないようにしている」という考えには否定的な意見の子どもが多くなっている。

⑤友だちとの関係はお互い深入りしない

「あまりそう思わない」（29.2%）と「そう思わない」（29.4%）がいずれも約 3 割にの

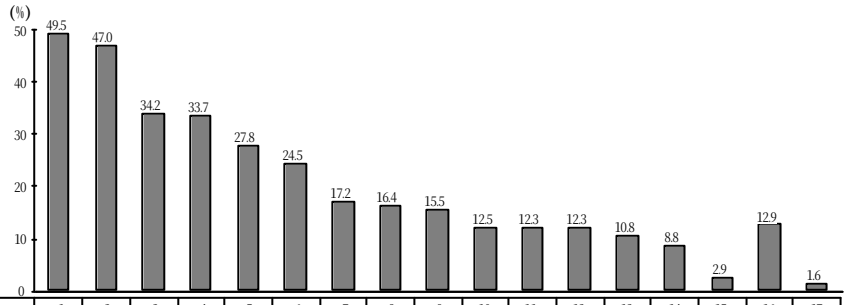
ぼって最も高く、両者をあわせると 58.6%と、否定的な意見が約 6 割を占め、「ややそう思う」（22.9%）と「そう思う」（13.1%）をあわせた肯定的な意見が 36.0%であるのに比べて高くなっており、「友だちとの関係はお互い深入りしない」という考えには否定的な意見の子どもが多くなっている。



（16）悩みや不安に思うこと（問 10）（複数回答）

心配や悩みごとは、「勉強のこと」（49.5%）が約 5 割にのぼって最も高く、これに「自分の性格やクセのこと」が 47.0%で続いている。以下、「顔や体型のこと」（34.2%）、「運動神経のこと」（33.7%）が 30%台、「将来や進路のこと」（27.8%）、「自分の健康のこと」（24.5%）が 20%台で続いており、そのほかはいずれも 2 割未満にとどまっている。全体的にみると、人間関係に関わる悩みよりも、自分自身のことでの悩みが上位に多くみられる。

これを学年別にみると、すべての学年において「勉強のこと」が最も高く、次いで「自分の性格やクセのこと」となっているが、その割合は学年が低いほど一層高くなっている。以下、全体で 2～4 割にのぼっている悩みごとは、学年にかかわらず同程度の回答がみられるが、加えて、『6 年生』では「学校の先生のこと」でも 22.8%と、2 割以上の回答がみられる。



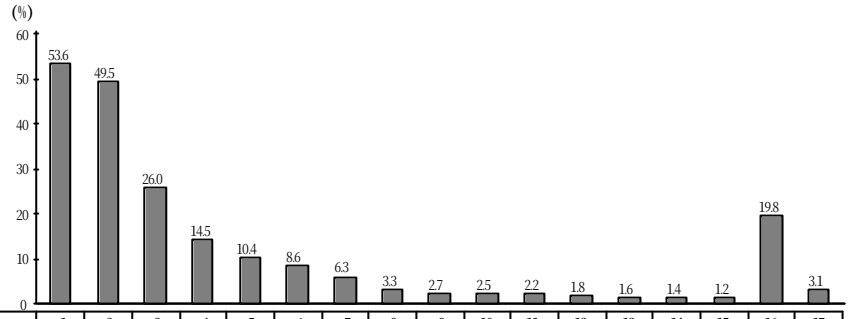
＊問２２　学年		N	1 勉強のこと	2 自分の性格やクセのこと	3 顔や体型のこと	4 運動神経・能力のこと	5 将来や進路のこと	6 自分の健康のこと	7 女性の友だちのこと	8 おこづかいのこと	9 いじめのこと	10 親のこと	11 いこと ほしいものを買ってもらえな	12 兄弟姉妹のこと	13 学校の先生のこと	14 男性の友だちのこと	15 その他	16 特にない	17 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	489	49.5	47.0	34.2	33.7	27.8	24.5	17.2	16.4	15.5	12.5	12.3	12.3	10.8	8.8	2.9	12.9	1.6
1	４年生	189	52.4	50.8	36.0	32.8	30.2	25.4	15.3	13.8	17.5	12.7	9.0	13.8	3.7	7.9	3.2	13.8	0.5
2	５年生	128	49.2	48.4	36.7	36.7	21.9	25.8	18.0	18.8	16.4	10.9	14.1	12.5	6.3	8.6	1.6	12.5	1.6
3	６年生	167	46.1	41.9	31.1	33.5	29.9	22.8	19.2	17.4	12.6	13.8	13.8	10.8	22.8	10.2	3.6	12.6	2.4

学年別無回答　N=5 を除く

（17）悩みや不安の相談相手（問 11）（複数回答）

心配や悩みごとがあったときに相談する相手は、「母親」（53.6%）と「同じ年齢の友だち」（49.5%）がいずれも 5 割前後にのぼって特に高くなっている。以下、「父親」（26.0%）、「兄弟姉妹」（14.5%）、「学校の先生」（10.4%）が続いている。なお、「なにもしなかった」（19.8%）という回答も約 2 割を占める。

これを学年別にみると、『4 年生』では「母親」が 55.6%で「同じ年齢の友だち」（43.9%）を上回って最も高くなっているが、『6 年生』では「同じ年齢の友だち」が 52.7%で「母親」（49.1%）を上回って最も高くなっている。



＊問２２　学年		N	1 母親	2 同じ年齢の友だち	3 父親	4 兄弟姉妹	5 学校の先生	6 おばあさん・おじいさん	7 年上の友だち・先輩	8 保健室の先生	9 近所の知りあい	10 塾や習いごとの先生	11 電話で相談した	12 年下の友だち・後輩	13 その人おばさん・おじさんなど親類	14 相談の先生	15 その他	16 なにもしなかった	17 無回答
0	TOTAL	489	53.6	49.5	26.0	14.5	10.4	8.6	6.3	3.3	2.7	2.5	2.2	1.8	1.6	1.4	1.2	19.8	3.1
1	４年生	189	55.6	43.9	28.0	13.8	12.7	10.1	6.3	3.7	3.2	3.7	2.1	1.1	0.5	0.5	1.1	20.1	3.2
2	５年生	128	57.8	54.7	26.6	18.0	11.7	7.0	7.0	6.3	1.6	2.3	4.7	0.0	1.6	1.6	1.6	14.8	3.1
3	６年生	167	49.1	52.7	23.4	13.2	6.6	8.4	6.0	0.6	3.0	1.2	0.6	4.2	3.0	2.4	1.2	23.4	1.8

学年別無回答　N=5 を除く

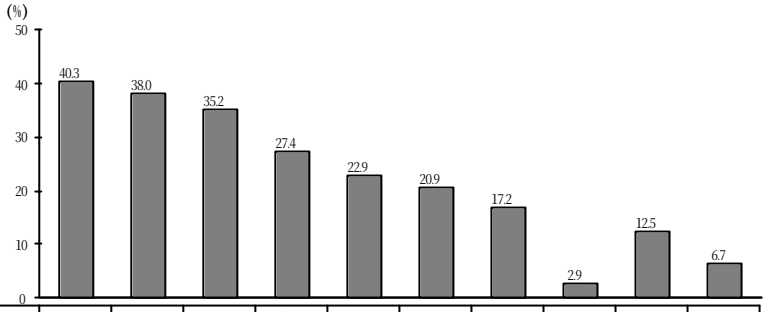
２．地域社会について

（１）となり近所や地域の人たちにしてもらいたいこと（問 12）（３つまでの制限回答）

となり近所や地域の人たちにしてもらいたいと思うことは、「子どもあつかいしないで、子どもの意見を聞いてほしい」が 40.3%で最も高く、これに「いたずらや人に迷惑をかけていたら注意してほしい」（38.0%）と「子どものことを言う前に、大人がきちんとしてほしい」（35.2%）がいずれも 4 割弱で続いており、一緒に遊んだり相談にのってもらうといった積極的な交流に関わることがらは下位に位置している。また、「かかわってほしくない」とする人も 12.5%と、1 割強みられる。

これを学年別にみると、全体では下位に位置している「よいことをしたときは、ほめてほしい」「いじめられているときは、助けてほしい」「スポーツや遊びをいっしょにしてほしい」「悩んでいるときは、相談にのってほしい」は、いずれも学年が低いほど高くなっており、『4 年生』ではいずれも 2～3 割にのぼっている。したがって、『4 年生』では顕著に高い項目はなく、すべての項目において 2～3 割強と、回答が分散している。一方、「子どもあつかいしないで、子どもの意見を聞いてほしい」と「子どものことを言う前に、大人

がきちんとしてほしい」は、学年が高くなるほど顕著に高くなっており、『6 年生』では「子どもあつかいしないで、子どもの意見を聞いてほしい」が 48.5%、「子どものことを言う前に、大人がきちんとしてほしい」が 43.1%と、いずれも 4～5 割にのぼっており、他の項目を大きく引き離して上位を占めている。また、『6 年生』では「かかわってほしくない」とする人も 20.4%と、約 2 割を占めており、学年が高くなるにともなって、近所や地域の人との関わりを望まない子どもが多くなっている状況がうかがえる。

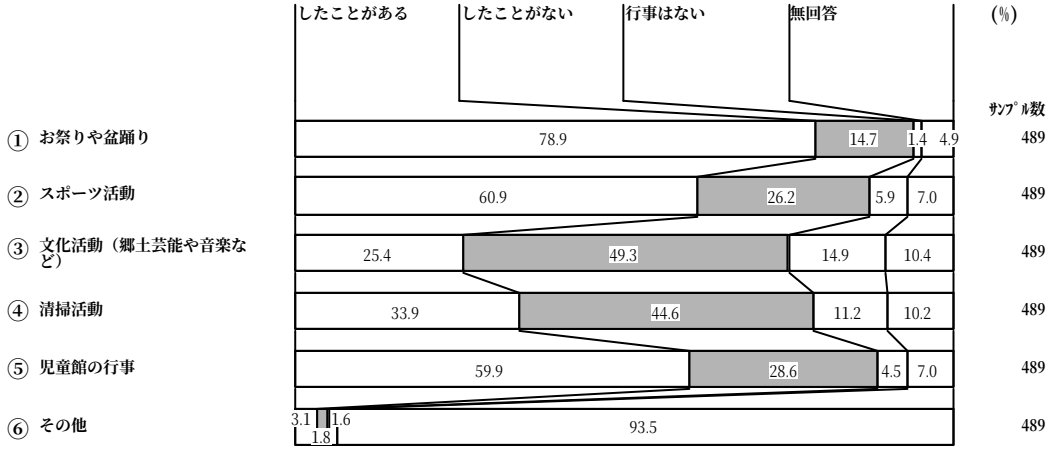


＊問２２　学年		N	1 子どもの意見を聞いてほしい	2 いたら注意してほしい いたずらや人に迷惑をかけて	3 がきちんとしてほしい 子どものことを言う前に大人	4 てほしい いじめられているときは助け	5 てほしい よいことをしたときにはほめ	6 してほしい スポーツや遊びをいっしょに	7 てほしい 悩んでいるときは相談にのっ	8 その他	9 かかわってほしくない	10 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	489	40.3	38.0	35.2	27.4	22.9	20.9	17.2	2.9	12.5	6.7
1	４年生	189	34.9	35.4	25.4	32.3	33.9	27.5	20.6	3.2	10.1	5.3
2	５年生	128	38.3	49.2	39.1	30.5	18.8	21.1	16.4	2.3	5.5	7.0
3	６年生	167	48.5	32.9	43.1	19.8	13.8	13.8	14.4	3.0	20.4	7.8

学年別無回答　回答　N=5 を除く

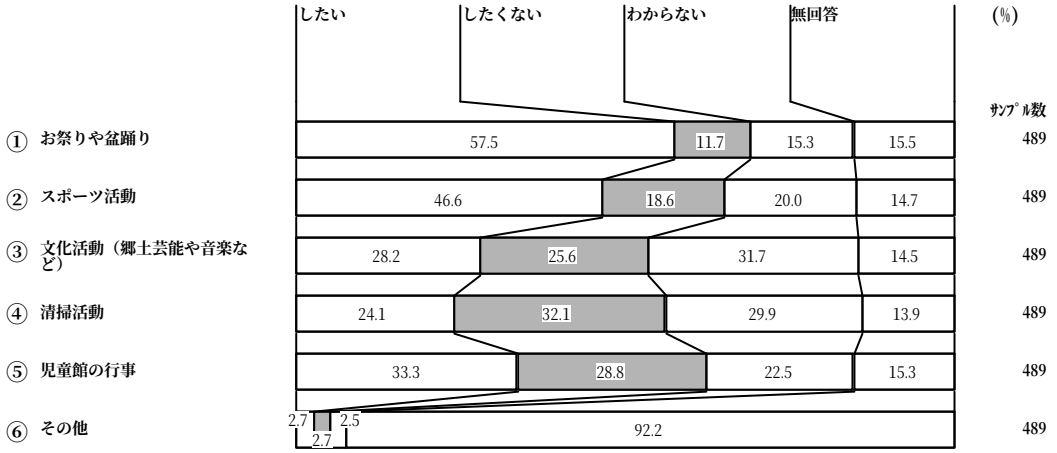
（２）地域行事への参加状況（問 13）

地域の行事や活動への参加状況をみると、経験率（「したことがある」という割合）が最も高いのは『お祭りや盆踊り』（78.9%）で、全体の約 8 割の人が参加した経験がある。これに『スポーツ活動』（60.9%）と『児童館の行事』（59.9%）が約 6 割で続いている。一方、『清掃活動』や『文化活動』では、「（参加）したことがある」（清掃：33.9%、文化：25.4%）は 3 割前後で、「（参加）したことがない」（清掃：44.6%、文化：49.3%）という子どもの方が多くなっている。



（３）地域行事への今後の参加意向（問 13）

地域の行事や活動への今後の参加希望の状況をみると、参加希望率（「したい」という割合）が最も高いのは、参加経験率でも１位を占めている『お祭りや盆踊り』（57.5%）で、これに『スポーツ活動』（46.6%）が続いており、両者とも「（参加）したくない」（祭り：11.7%、ｽﾎﾟｰﾂ：18.6%）を大きく上回っている。また、参加率では『スポーツ活動』と並んで高くなっている『児童館の行事』は、「（参加）したい」（33.3%）という割合が 3 割強にとどまっている。一方、参加率が低い『清掃活動』と『文化活動』は、参加希望率においても他の活動に比べると低くなっており、「（参加）したい」（清掃：24.1%、文化：28.2%）は 25%前後にとどまり、「（参加）したくない」（清掃：32.1%、文化：25.6%）や「わからない」（清掃：29.9%、文化：31.7%）とする人がそれぞれ 3 割前後にのぼっている。



（４）地域行事に参加したくない理由（問 13－１）（複数回答）

地域行事への今後の参加希望（問 13）において、「（参加）したくない」と回答している人にその理由を聞いている。その結果、「行ってもつまらないから」（47.5%）と「めんどうくさい」（46.5%）がいずれも 5 割弱にのぼって最も高い。これに、「なんとなく」（36.3%）、「つかれるから」（35.6%）が約 35%で続いており、参加したくない理由というよりも、参加しようという意欲がないといった状況がうかがえる。

これを学年別にみると、学年にかかわらず同様の理由が上位を占めているが、そのうち、「めんどうくさい」「つかれるから」への回答は、学年が高くなるほど一層高くなっている。

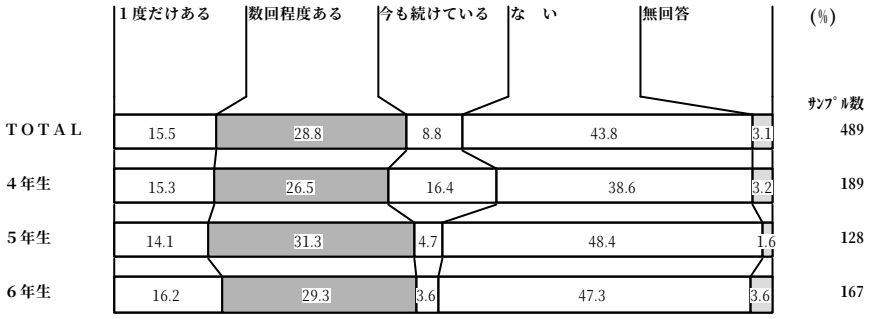
	＊問２２　学年	N	1 行ってもつまらないから	2 めんどうくさい	3 なんとなく	4 つかれるから	5 塾や習いごとで忙しいから	6 友だちが行かないから	7 がいるから 嫌な友だちや上級生や下級生	8 クラブ活動が忙しいから	9 その他	10 無回答
0	TOTAL	284	47.5	46.5	36.3	35.6	28.5	21.5	9.5	1.1	3.9	4.2
1	４年生	101	31.7	36.6	35.6	28.7	24.8	24.8	8.9	0.0	4.0	4.0
2	５年生	65	58.5	49.2	40.0	35.4	30.8	23.1	9.2	1.5	1.5	4.6
3	６年生	115	54.8	53.0	33.0	40.9	30.4	18.3	10.4	1.7	5.2	4.3

学年別無回答　N=3 を除く

（５）ボランティア活動の経験（問 14）

ボランティア活動への参加状況については、「今も続けている」（8.8%）とする人は約 1 割である。また、「一度だけある」は 15.5%、「数回程度ある」は 28.8%となっており、これらをあわせると、参加経験のある人は 53.1%と、5 割を超えている。一方、参加したことが「ない」（43.8%）のは全体の 4 割強である。

これを学年別にみると、「今も続けている」という割合が最も高いのは『4 年生』で、16.4%と、2 割近くが現在もボランティア活動に参加している。また、「今も続けている」に「一度だけある」と「数回程度ある」をあわせた参加経験率は、『5 年生』（50.1%）と『6 年生』（49.1%）では約 5 割であるのに対し、『4 年生』（58.2%）では約 6 割と、5 年生以上に比べて若干高くなっている。



学年別無回答　N=5 を除く

（６）ボランティア活動のきっかけ（問 14－１）（複数回答）

ボランティア活動に参加したことがあるという人（問 14 で「１」～「３」に回答）に、参加のきっかけを聞いている。その結果、「学校の活動だったから」が 50.0%で最も高く、参加経験者の半数は学校の活動がそのきっかけとなっている。これに、「何か人のために役立ちたかったから」（36.2%）や「ボランティアの経験をしてみたかったから」（29.6%）といった積極的な意思によるものがいずれも 3 割前後で続いている。

これを学年別にみると、全体で最も高い「学校の活動だったから」は『4 年生』（59.1%）では約 6 割にのぼって一層高くなっている。また、「何か人のために役立ちたかったから」と「ボランティアの経験をしてみたかったから」は、『6 年生』に比べて 5 年生以下の方が若干高くなっており、特に『5 年生』では「何か人のために役立ちたかったから」（39.1%）が最も高くなっている。一方、『6 年生』では「人に誘われたから」（23.2%）が 2 割を超え、5 年生以下に比べて高くなっている。

	＊問２２　学年	N	1 学校の活動だったから	2 たから 何か人のために役立ちたかっ	3 たかったから ボランティアの経験をしてみ	4 おもしろそうだったから	5 するのが当然だと思ったから	6 人に誘われたから	7 たから 親や先生にやるように言われ	8 その他	9 無回答
0	TOTAL	260	50.0	36.2	29.6	21.5	18.1	15.4	13.1	6.9	1.9
1	４年生	110	59.1	38.2	31.8	19.1	22.7	9.1	9.1	6.4	1.8
2	５年生	64	35.9	39.1	32.8	23.4	12.5	15.6	18.8	10.9	4.7
3	６年生	82	47.6	32.9	24.4	22.0	17.1	23.2	13.4	4.9	0.0

学年別無回答　N=4 を除く

（７）参加した（参加してみたい）ボランティア活動（問 14－２）（複数回答）

これまでに参加したボランティア活動や、参加してみたいボランティア活動は、「寄付や募金の活動」（37.6%）と「リサイクル」（36.4%）が 4 割弱で最も高く、次いで「おとしよりの手助け」（32.3%）と「自然・環境保護」（29.2%）が 3 割前後となっている。

これを学年別にみると、『4 年生』では「おとしよりの手助け」が 49.7%と、約半数にのぼって顕著に高くなっている。また、『5 年生』では「自然・環境保護」（42.2%）と「リサイクル」（43.8%）がいずれも 4 割を超えて最も高く、他の学年に比べて環境ボランティアへの関心が高くなっている。一方、『6 年生』では 4 割を超えている活動はなく、ほとんどの活動が 2～3 割前後にとどまっている。

	＊問２２　学年	N	1 寄付や募金の活動	2 リサイクル	3 おとしよりの手助け	4 自然・環境保護	5 年下の子どものめんどう	6 地域活動・そうじなど	7 障害者の手助け	8 国際交流活動	9 防災活動	10 その他	11 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	489	37.6	36.4	32.3	29.2	23.1	17.4	15.1	9.0	7.4	1.8	13.5
1	４年生	189	39.2	36.5	49.7	22.2	23.8	13.8	19.6	4.8	6.9	1.6	10.1
2	５年生	128	37.5	43.8	25.8	42.2	27.3	14.1	15.6	18.0	7.8	0.8	15.6
3	６年生	167	36.5	30.5	18.6	26.9	19.8	24.0	10.2	7.2	7.8	3.0	15.6

学年別無回答　N=5 を除く

（８）市の施設の利用状況（問 15）（複数回答）

市内の施設の利用状況を聞いている。その結果、利用率が特に高い施設は「図書館」（83.4%）、「児童館」（77.9%）、「近くの公園」（71.6%）で、いずれも 7～8 割が利用している。次いで、「スポーツセンター」（54.8%）、「こもれびホール」（54.2%）、「休日の学校の校庭開放」（49.7%）がいずれも 5 割前後と、半数程度の子どもが利用している。一方、利用率が特に低い施設は「武道場」（12.3%）、「総合体育館」（14.7%）、「コール田無」（15.1%）、「休日の学校の体育館開放」（17.6%）で、利用率はいずれも 15%前後にとどまっている。

これを学年別にみると、全体の利用率が 7 割を超えている施設のうち、「図書館」と「近くの公園」は学年が高くなるほど利用率も一層高くなっており、「図書館」は『5 年生』（82.8%）と『6 年生』（92.2%）では 8～9 割にのぼって最も高くなっている。一方、「児童館」は学年が低くなるほど高くなっており、『4 年生』では 82.5%と、8 割を超えて最も高くなっている。そのほか、「公民館」も学年が高くなるほど高くなっており、『6 年生』では 52.1%と、5 割を超えている。一方、「コール田無」は学年が低くなるほど高くなっており、『4 年生』では 21.7%みられる。

	＊問２２　学年	N	1 図書館	2 児童館	3 近くの公園	4 スポーツセンター	5 こもれびホール	6 休日の学校の校庭開放	7 公民館	8 運動場	9 休日の学校のプール開放	10 市民会館	11 地区会館・集会所	12 休日の学校の体育館開放	13 コール田無	14 総合体育館	15 武道場	16 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	489	83.4	77.9	71.6	54.8	54.2	49.7	37.8	33.3	29.4	27.4	27.2	17.6	15.1	14.7	12.3	3.3
1	４年生	189	76.7	82.5	65.6	52.4	51.9	37.6	27.5	32.8	32.8	25.9	21.2	12.2	21.7	10.1	14.3	3.2
2	５年生	128	82.8	74.2	75.0	64.1	51.6	63.3	33.6	39.1	35.2	33.6	32.8	21.1	13.3	26.6	10.9	3.9
3	６年生	167	92.2	76.0	76.0	50.9	59.9	53.3	52.1	29.3	22.2	25.1	29.9	21.0	9.6	11.4	11.4	2.4

学年別無回答　N=5 を除く

（９）市の施設の今後の利用意向（問 15－１）（複数回答）

市内の施設の今後の利用意向を聞いている。その結果、利用意向が特に高い施設は「図書館」（40.3%）と「スポーツセンター」（38.9%）で、いずれも約 4 割にのぼっている。次いで、「こもれびホール」（31.7%）、「近くの公園」（31.5%）、「運動場」（28.4%）、「児童館」（27.8%）、「休日の学校の体育館開放」（27.0%）、「休日の学校の校庭開放」（26.0%）がいずれも 3 割前後となっている。なお、現在の利用率（問 15 参照）と比べると、「休日の学校の体育館開放」は利用率に比べて利用意向が顕著に高くなっているが、そのほかの施設に関しては、利用率が高い施設は利用意向でも上位を占め、利用率が低い施設は利用意向においても下位に位置しているという傾向がみられる。

これを学年別にみると、「図書館」と「スポーツセンター」はすべての学年において 4 割前後にのぼって上位を占めており、学年による顕著な差はみられない。そのほかのほとんどの施設においても、学年による顕著な差はみられないが、「児童館」「休日の学校の校庭開放」「休日の学校のプール開放」「スポーツセンター」「市民会館」においては、学年が低くなるほど利用率が高くなるという傾向がみられる。

	＊問２２　学年	N	1 図書館	2 スポーツセンター	3 こもれびホール	4 近くの公園	5 運動場	6 児童館	7 休日の学校の体育館開放	8 休日の学校の校庭開放	9 休日の学校のプール開放	10 公民館	11 総合体育館	12 市民会館	13 武道場	14 地区会館・集会所	15 コール田無	16 無回答
0	ＴＯＴＡＬ	489	40.3	38.9	31.7	31.5	28.4	27.8	27.0	26.0	21.3	21.1	17.6	16.2	15.5	13.9	12.3	16.6
1	４年生	189	42.9	42.9	33.3	33.3	30.7	36.5	25.9	30.2	24.9	23.3	17.5	19.0	16.4	15.9	14.3	14.3
2	５年生	128	35.9	38.3	25.8	29.7	32.8	30.5	27.3	26.6	21.9	18.8	20.3	17.2	16.4	13.3	10.9	18.8
3	６年生	167	41.3	35.9	34.7	31.1	23.4	16.8	28.1	20.4	17.4	21.0	16.2	12.0	14.4	12.6	11.4	16.2

学年別無回答　N=5 を除く

（10）市の施設への不満（問 16）（各施設につき複数回答）

市内の 13 の施設のそれぞれについて、不満な点を聞いている。

①児童館

不満なことは「特にない」（57.7%）という意見が 6 割近くを占めている。一方、不満な点で回答が高いのは「イベント・遊具・器具・本などがあわない」（13.1%）、「日曜日や祝日に利用できない」（12.3%）、「遠すぎる」（12.3%）で、いずれも 1 割強となっている。

②図書館

不満なことは「特にない」（68.1%）という意見が約 7 割を占めている。一方、不満な点で最も回答が高いのは「遠すぎる」（11.2%）で、約 1 割となっているが、そのほかはいずれも数%にとどまっている。

③スポーツセンター

不満なことは「特にない」（49.1%）という意見は約 5 割で、何らかの不満を感じている人が半数近くを占める。不満な点で特に回答が高いのは「どこにあるかわからない」（19.4%）で、約 2 割にのぼっており、次いで「遠すぎる」が 15.7%となっている。

④公民館

不満なことは「特にない」（47.6%）という意見は 5 割弱にとどまり、何らかの不満を感じている人が半数近くを占める。不満な点で特に回答が高いのは「どこにあるかわからない」（22.5%）で、2 割を超えており、次いで「何をしているところかわからない」が 10.0%となっている。

⑤こもれびホール

不満なことは「特にない」（48.9%）という意見は約 5 割で、何らかの不満を感じている人が半数近くを占める。不満な点で特に回答が高いのは「遠すぎる」（18.4%）と「どこにあるかわからない」（16.0%）で、いずれも 2 割弱となっている。

⑥市民会館

不満なことは「特にない」（41.7%）という意見は約 4 割にとどまり、何らかの不満を感じている人が半数程度を占める。不満な点で特に回答が高いのは「どこにあるかわからない」（31.7%）で、全体の約 3 割にのぼっている。次いで「何をしているところかわからない」（12.3%）も 1 割を超えている。

⑦地区会館・集会所

不満なことは「特にない」（41.5%）という意見は約 4 割にとどまり、何らかの不満を感じている人が半数程度を占める。不満な点で特に回答が高いのは「どこにあるかわからない」（33.9%）で、全体の約 3 分の 1 にのぼっている。次いで「何をしているところかわからない」（12.3%）も 1 割を超えている。

⑧コール田無

最も回答が高いのは「どこにあるかわからない」（44.4%）で、全体の 4 割以上が回答している。これに「何をしているところかわからない」（16.4%）が 2 割弱で続いている。なお、不満なことは「特にない」という人は 31.3%と、13 の施設の中で最も低く、不満を感じている人が特に多い施設である。

⑨総合体育館

最も回答が高いのは「どこにあるかわからない」（42.1%）で、全体の 4 割以上が回答している。なお、不満なことは「特にない」という人は 33.3%と、13 の施設の中でも『コー

ル田無』と並んで特に低く、不満を感じている人が特に多い施設である。

⑩武道場

最も回答が高いのは「どこにあるかわからない」で、45.2%にのぼり、13 の施設の中でも最も高くなっている。なお、不満なことは「特にない」という人は 34.8%と、13 の施設の中でも『コール田無』『総合体育館』と並んで特に低く、不満を感じている人が特に多い施設である。

⑪休日の学校の校庭開放

不満なことは「特にない」（73.6%）という意見が全体の約 4 分の 3 を占めており、不満な点に対する回答はいずれも 5%未満にとどまっている。

⑫休日の学校の体育館開放

不満なことは「特にない」（67.9%）という意見が全体の 7 割近くを占めており、不満な点に対する回答は、「利用手続きがわからない」が 7.6%となっているほかは、いずれも 3%未満にとどまっている。

⑬休日の学校のプール開放

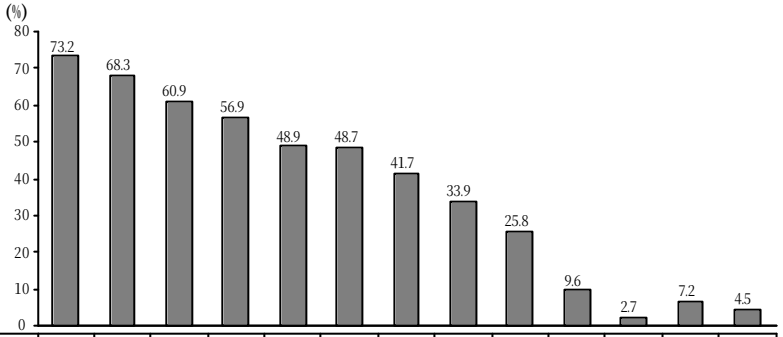
不満なことは「特にない」（72.2%）という意見が全体の 7 割以上を占めており、不満な点に対する回答はいずれも 5%未満にとどまっている。

	＊問１６　市の施設への不満	N	1 どこにあるかわからない	2 遠すぎる	3 ない 何をしているところかわから	4 利用手続きがわからない	5 子どもだけで利用できない	6 日曜日や祝日に利用できない	7 どがあわない イベント・遊具・器具・本な	8 その他	9 特にない	10 無回答
0	TOTAL	6,357	20.0	6.9	6.3	3.6	2.6	2.4	2.4	1.9	51.4	10.5
1	児童館	489	2.5	12.3	1.8	1.4	0.4	12.3	13.1	2.7	57.7	6.5
2	図書館	489	2.2	11.2	0.0	1.4	1.6	6.1	4.1	0.8	68.1	8.6
3	スポーツセンター	489	19.4	15.7	3.1	3.9	6.5	0.8	1.2	2.5	49.1	8.6
4	公民館	489	22.5	7.8	10.0	4.9	2.9	1.0	0.6	1.2	47.6	9.4
5	こもれびホール	489	16.0	18.4	7.4	4.7	3.9	0.6	1.2	1.8	48.9	8.4
6	市民会館	489	31.7	8.4	12.3	2.9	3.1	0.2	0.4	1.6	41.7	9.2
7	地区会館・集会所	489	33.9	2.9	12.3	2.9	4.5	0.6	0.8	1.6	41.5	10.6
8	コール田無	489	44.4	4.3	16.4	3.1	2.5	0.8	0.4	1.8	31.3	9.0
9	総合体育館	489	42.1	5.1	9.8	3.7	2.2	0.4	0.6	1.6	33.3	10.0
10	武道場	489	45.2	3.3	9.2	2.7	1.4	0.2	0.6	1.2	34.8	10.2
11	休日の学校の校庭開放	489	0.0	0.0	0.0	3.3	1.4	2.9	4.1	1.6	73.6	14.3
12	休日の学校の体育館開放	489	0.0	0.0	0.0	7.6	2.2	2.7	2.2	2.9	67.9	15.7
13	休日の学校のプール開放	489	0.0	0.0	0.0	4.3	1.4	2.5	1.8	3.1	72.2	16.0

（11）子どもが使いやすい遊び場や施設にするために必要なこと（問 17）（複数回答）

子どもが使いやすい遊び場や施設にするために必要とされることについては、「子どもの意見をとり入れる」（73.2%）が最も高く、これに「利用料を無料にする」（68.3%）が続いており、いずれも 7 割前後の子どもが必要だと考えている。次いで「日曜日や祝日も利用できるようにする」（60.9%）と「子どもが自由に集まれるようにする」（56.9%）が 6 割前後となっており、以下、ほとんどの項目において 3～5 割の回答がみられる。一方、最も回答が低いのは「子どもが施設の運営にかかわる」で、他の多くの項目で 4 割以上の回答がみられるにもかかわらず、9.6%と、特に低くなっている。

これを学年別にみると、全体で 1 位を占めている「子どもの意見をとり入れる」は学年が高くなるほど一層高くなっており、「6 年生」では 84.4%にのぼっている。また、回答の高い順位には学年による顕著な差はみられないが、『5 年生』では、ほとんどすべての項目において、回答率が他の学年に比べて若干高くなっており、施設に対して多くの要望を持っている状況がうかがえる。



	＊問２２　学年	N	1 子どもの意見をとり入れる	2 利用料を無料にする	3 うにする日曜日や祝日も利用できるよ	4 にする子どもが自由に集まれるよう	5 利用手続きを簡単にする	6 開館時間を長くする	7 施設を近くにして増やす	8 をする子どもが企画・イベントなど	9 マップなどの広報活動をする	10 る子どもが施設の運営にかかわ	11 その他	12 特にない	13 無回答
0	TOTAL	489	73.2	68.3	60.9	56.9	48.9	48.7	41.7	33.9	25.8	9.6	2.7	7.2	4.5
1	４年生	189	63.0	66.1	63.0	55.6	47.1	49.7	40.2	31.7	25.9	8.5	2.1	9.5	4.2
2	５年生	128	75.0	74.2	62.5	67.2	53.1	50.0	47.7	39.8	31.3	9.4	3.9	7.0	4.7
3	６年生	167	84.4	67.1	59.3	50.9	48.5	47.3	40.1	32.9	21.0	11.4	2.4	4.2	3.6

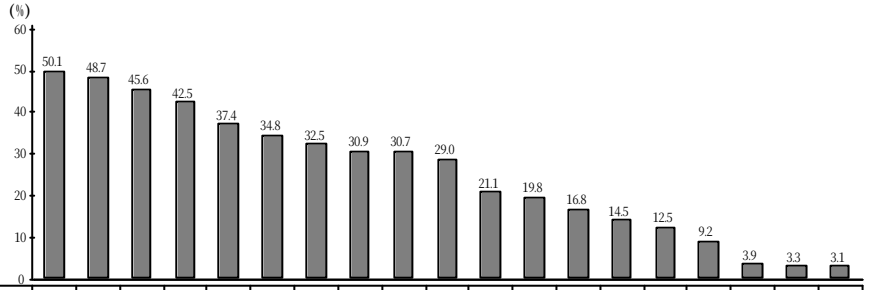
学年別無回答　N=5 を除く

（12）近くにほしい遊び場や施設（問 18）（5 つまでの制限回答）

近くにほしい遊び場や施設で最も要望が高いのは「運動ができる大きな広場や公園」（50.1%）と「雨の日でも遊べる施設」（48.7%）で、いずれも約半数の子どもが要望している。次いで「友だちとおしゃべりや飲食ができる施設」（45.6%）と「雑木林や川などの自然にふれられる遊び場」（42.5%）がいずれも 45%前後となっている。

全体的にみると、体全体を使って遊べる運動施設や自然体験の遊び場はいずれも要望が高く、ほとんどが 3 割を超えている。一方、文化施設の中では、「友だちとおしゃべりや飲食ができる施設」（45.6%）に次いで「料理やパーティーができるところ」（30.9%）や「宿泊ができる施設」（29.0%）が約 3 割にのぼっており、友だちどうしの交流ができるような施設への要望が高くなっている。

これを学年別にみると、『4 年生』と『5 年生』では「運動ができる大きな広場や公園」（4 年：50.3%、5 年：55.5%）が 5 割を超えて最も高くなっているのに対し、『6 年生』では「友だちとおしゃべりや飲食ができる施設」（55.1%）が 6 割近くにのぼって最も高くなっている。以下、回答の高い順位には学年による顕著な差はみられないが、『5 年生』では、ほとんどすべての施設において回答率が他の学年に比べて若干高くなっている。



＊問２２　学年		N	1 運動ができる大きな広場や公園	2 雨の日でも遊べる施設	3 友だちとおしゃべりや飲食ができる施設	4 雑木林や川などの自然にふれられる遊び場	5 ボール遊びができる公園	6 昆虫や動物などと親しめる遊び場	7 サッカーやウンド野球ができるグラ	8 料理やパーティーができるところ	9 体育館やプールの施設	10 宿泊ができる施設	11 図書館・公民館・児童館などの公共施設	12 静かに勉強ができる自習室のようなスペース	13 音楽活動などが自由にできる施設	14 砂場やブランコなどがある公園	15 大人が遊びを教えてくれるところ	16 演劇や美術などの文化活動ができる施設	17 その他	18 特にない	19 無回答
0	TOTAL	489	50.1	48.7	45.6	42.5	37.4	34.8	32.5	30.9	30.7	29.0	21.1	19.8	16.8	14.5	12.5	9.2	3.9	3.3	3.1
1	4年生	189	50.3	46.6	40.2	40.7	37.0	36.5	31.7	29.6	30.2	22.2	21.7	21.2	15.3	16.9	12.2	9.0	3.7	3.2	2.6
2	5年生	128	55.5	52.3	43.0	51.6	43.0	45.3	41.4	39.1	28.9	35.9	24.2	17.2	14.8	19.5	18.8	8.6	2.3	0.8	2.3
3	6年生	167	46.1	47.9	55.1	38.9	33.5	25.7	26.9	26.9	32.9	31.7	18.0	20.4	20.4	8.4	8.4	10.2	5.4	5.4	3.0

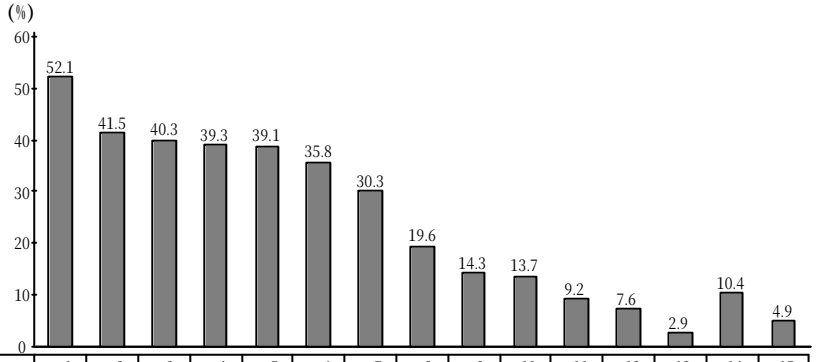
学年別無回答　N=5 を除く

３．子どもの権利について

（１）子どもと接するとき、大人に心がけてほしいこと（問 19）（5 つまでの制限回答）

大人として心がけてほしいことは、「友だちやきょうだいと比べないでほしい」（52.1%）が 5 割を超えて最も高くなっている。これに、「自分のことは自分で決めさせてほしい」（41.5%）、「話をもっと真剣に聞いてほしい」（40.3%）、「自分が自由に使える時間を増やしてほしい」（39.3%）、「きまりや約束ごとを一方的に押しつけないでほしい」（39.1%）といった、自主性の尊重を希望する回答がいずれも約 4 割で続いている。なお、「満足しているので、望みたいことはない」（10.4%）とする子どもが約 1 割みられる一方、「言ってもむだだと思う」（9.2%）とする子どもも約 1 割を占める。

これを学年別にみると、全体で約 4 割となっている「自分のことは自分で決めさせてほしい」「話をもっと真剣に聞いてほしい」「きまりや約束ごとを一方的に押しつけないでほしい」といった、子どもの自主性を主張する意見は、いずれも学年が高くなるほど一層高くなっており、「6 年生」ではいずれも 5 割弱にのぼっている。一方、「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を増やしてほしい」は学年が低いほど高くなっており、『4 年生』では 36.0%と、4 割近くにのぼっている。



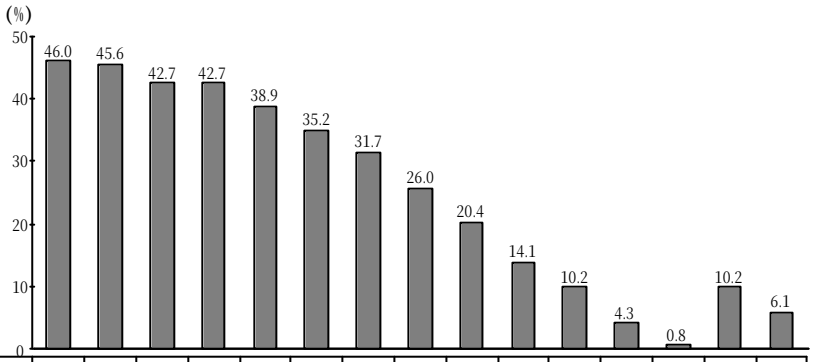
＊問２２　学年		N	1 友だちやきょうだいと比べない	2 自分のことは自分で決めさせてほしい	3 話をもっと真剣に聞いてほしい	4 自分が自由に使える時間を増やしてほしい	5 きまりや約束事を一方的に押しつけないでほしい	6 約束を守ってほしい	7 家族が仲良く一緒に過ごす時間を増やしてほしい	8 ねほりはほり聞いたりあれこれ世話をしないでほしい	9 いじめや学校でいやな思いをしないように守ってほしい	10 手本を示してほしい	11 言ってもむだだと思う	12 社会のルールを守ってほしい	13 その他	14 満足しているので望みたいことはない	15 無回答
0	TOTAL	489	52.1	41.5	40.3	39.3	39.1	35.8	30.3	19.6	14.3	13.7	9.2	7.6	2.9	10.4	4.9
1	4年生	189	49.2	35.4	31.7	42.3	30.7	37.6	36.0	18.0	15.3	11.6	9.0	7.4	3.7	12.7	5.3
2	5年生	128	53.9	42.2	45.3	37.5	37.5	35.2	30.5	13.3	14.1	14.1	5.5	5.5	0.8	14.1	6.3
3	6年生	167	54.5	48.5	46.7	37.7	49.7	34.1	24.6	26.9	13.2	15.6	12.6	9.6	3.6	5.4	2.4

学年別無回答　N=5 を除く

（2）子どもの権利で特に大切だと思うこと（問 20）（5 つまでの制限回答）

子どもの権利で特に大切だと思うことについては、「人と違う自分らしさが認められること」（46.0%）と「障害のある子どもが差別されないで暮らせること」（45.6%）がいずれも約 46%で最も高くなっており、これに、「自分の考えをいつでも自由に言えること」と「遊んだり、疲れたときは休むなど自由になる時間を持つ」がいずれも 42.7%、「暴力や言葉で傷つけられないこと」（38.9%）、「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと」（35.2%）、「自分の秘密が守られること」（31.7%）がいずれも 30%台で続いている。

これを学年別にみると、学年が高くなるほど顕著に高くなっているのは、「人と違う自分らしさが認められること」「自分の考えをいつでも自由に言えること」「人種や言葉や宗教などの違いで差別されないこと」「自分の秘密が守られること」で、いずれも『6 年生』では『4 年生』に比べて 10～20 ポイント高くなっている。一方、学年が低いほど高くなっているのは「暴力や言葉で傷つけられないこと」と「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと」で、『4 年生』では両者とも 4 割を超えている。



＊問２２　学年		N	1 れること 人と違う自分らしさが認めら	2 ないで暮らせること 障害のある子どもが差別され	3 言えること 自分の考えをいつでも自由に	4 ど自由になる時間を持つ 遊んだり疲れたときは休むな	5 こと 暴力や言葉で傷つけられない	6 間を持つこと 家族が仲良く一緒に過ごす時	7 自分の秘密が守られること	8 で差別されないこと 人種や言葉や宗教などの違い	9 が隠されないこと 子どもが知りたいと思うこと	10 ル―プを作り集まれること 子どもの自由な呼びかけでグ	11 だと認められること 子どもも独立した人格の持主	12 ること 子どもの権利条約について知	13 その他	14 特にない	15 無回答
0	TOTAL	489	46.0	45.6	42.7	42.7	38.9	35.2	31.7	26.0	20.4	14.1	10.2	4.3	0.8	10.2	6.1
1	4年生	189	41.8	40.7	38.6	42.9	41.3	42.3	24.9	18.5	22.2	13.8	7.4	3.2	1.1	9.0	6.9
2	5年生	128	44.5	50.8	41.4	41.4	38.3	34.4	26.6	29.7	14.1	17.2	10.2	3.9	0.0	12.5	7.0
3	6年生	167	52.7	47.9	49.1	44.3	36.5	28.7	43.1	32.3	24.0	12.6	13.8	6.0	1.2	9.6	3.6

学年別無回答　N=5 を除く